

定による単変量解析を行い、 $p < 0.05$ を有意とした。【結果】grade2 の放射線食道炎を 22 例 (71%) に認め、grade3 以上は認めなかった。長さ、上部食道の V5~V40、平均線量、喫煙指数、Hb で有意に食道炎の発生率が高かった。【結論】 上部食道の低線量領域の体積が放射線食道炎の予測因子である事が示唆された。

9. 「ミサトール」が投与された肝、胆、膵悪性腫瘍症例の検討

鈴木 良彦

(国立病院機構高崎病院・放射線科)

水田 敏信, 大澤 立志, 足立 太郎

大坂 和久, 足立 正一

(日本アプリコット株式会社)

【目的】 我々は、昨年の本研究会において、群馬県産青梅の加熱濃縮果汁「ミサトール」の胆癌症例に対する抗腫瘍効果について報告した。今回、さらに症例を加えたので検討を行った。【方法】 当科で治療の行われた肝、胆、膵悪性腫瘍症例に「ミサトール」1包 (5ml) を 1日2回単独投与し、その画像、腫瘍マーカー、肝機能、G/L比の経時変化を観察した。【結果】 平成17年4月から平成18年12月までに「ミサトール」が投与された肝癌、胆管癌、膵臓癌症例は、それぞれ12例、5例、3例であった。そのうち、現在までに評価可能な15例を対象とした。抗腫瘍効果を検討できた11例中6例 (54.5%) に、画像上での腫瘍縮小、あるいは腫瘍マーカー低下が認められた。また、投与前に肝機能障害の認められた12例中5例に肝機能の改善が認められ、悪化したのは癌病変が増悪した1例だけであった。【結語】 「ミサトール」の抗腫瘍効果並びに肝機能改善効果が示唆された。

10. 乳房温存術後放射線療法における患者不安度についてのアンケート調査

奈良 定広, 川上 裕, 畠中 努

倉方ありさ, 今成 良一, 中村 勇司

(渋川総合病院・診療技術部 放射線科)

【目的】 当院の放射線治療では、乳房温存術後照射の患者が年間治療患者の約3割を占める。そこで、乳房温存術後照射を対象とする患者に対し、放射線治療への不安の動向を調査した。【方法】 平成17年1月から平成18年11月までの乳房温存術後照射の患者を対象にアンケートを行った。アンケートは治療開始前・治療終了後と全治療期間を7期間に分けての回答とした。【結果】 治療が進むにつれて、不安度が増加した例はわずかで、不安度が減少する例と不安度が変わらない例が多数だった。不安度が増加した例についても、増加は一時的なものだった。【結語】 当初は、治療が進むにつれ

て放射線治療に慣れることで不安度は減少していくと考えられたが、不安度が変化しない例も同じくらいあった。そのため、治療に対して適切なインフォームドコンセント、さらには治療期間中に適切な対応・接遇を行っていれば、不安を感じることは少ないと考えられた。

〈一般演題〉 (放射線診療)

座長：玉木 義雄 (群馬県立がんセンター・放射線科)

11. 地域病院における放射線診療科の業務状況と問題点

須藤 久男, 篠崎 淳, 福島 正秀

(松戸市立病院・放射線科)

【はじめに】 放射線科の業務は治療診断核医学の各分野で専門化されつつあるが、地域病院では、マンパワーに限りがあり、病院のニーズに応じて勤務しているのが現状である。当院では3名の放射線科医で、治療核医学はほぼ全域、診断はMRI、CTを中心に業務をこなしている。現状と問題点について報告する。【現状】 1. 放射線治療患者の新患数は300を超え、さらに増加傾向にある。2. 読影件数は年々増加している。3. 核医学検査は年々増加傾向にある。【問題点】 1. 治療患者が増加する中で、近隣の放射線治療施設が限られている。2. 最新機器の更新に伴い、検査件数の増加、撮像画像の増加、造影等手技の負担増加し、またより高度な画像診断が要求される。3. 放射線業務は拡大の一途である。

12. 放射線治療における法律と規制

藤田 克也, 齊藤 直恵, 上原 宏

平尾 和明, 鈴木 良彦

(国立病院機構高崎病院・放射線科)

【目的】 リニアックの運用では障害防止法において遮蔽計算に基づき使用時間の申請を行い放射線同位元素等使用許可証の中で許可された範囲内で使用している。近年放射線治療の対象患者数増加や、精度管理に使用する時間の増加により、使用時間の増加が各施設で発生してきている。場合によっては見直し等が必要になることがある。放射線取扱主任者や放射線管理者だけでなく放射線治療に関係する従事者 (医師、技師) と施設管理者などに広く理解され運用される必要がある。【方法】 文部科学省の理解の難しそうな部分である、方向利用率 (主に1, 0.5, 0.25) の考え方とその決定に基づく施設での遮蔽計算、管理区域の問題を含めて施設での帳票や使用時間の管理に関わる部分を整理した。